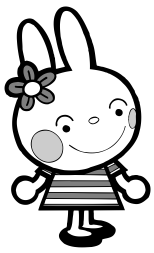
神明コミュニティだより

№１２

Ｈ２０．３．１１
鯖江市神明小学校

Community ： 深い結びつきをもった共同体。



今年度の本校の卒業証書授与式は３月１４日です。

○手づくりコサージュ

本校では、卒業生の胸に飾るコサージュは、６年生のおうちの方に作って頂いています。今年で３年目になります。いろいろな花の中から選んで組み合わせて作るので、世界に一つだけのコサージュになり、好評のようです。卒業生は、おうちの方の思いを胸に、卒業式に臨みます。

うちの子は、どんな色の花が似合うかしら・・・

根本をしっかりとくくらないとね。

今年は、そだての会子育て委員のみなさんが、作り方を指南してくださいました。仕上げの確認もお願いしました。

できあがった物は、クラスごとの箱に入れて保管します。

皆さんが取り組みやすいように、作り方のポイントを掲示してくださいました。

○感謝のプレゼント　　３月４日

この日６年生は、３・４校時はランチルームでクレープ作り、５・６校時はお楽しみ会と、小学校生活最後の楽しいひとときを「学年の集い」で過ごしました。クレープは、全教職員にも振る舞われましたが、何より嬉しかったのは、手作り小物と感謝の言葉が書かれたメッセージカードが添えられていたことです。

小学校卒業は、子どもたち自身が認識できる人生最初の節目ではないでしょうか。これまでの生活を振り返り、周囲の人々の支えに気づくとともに、未来に向かっての希望を持つ絶好の機会です。卒業という節目を成長の糧にしてほしいと願う担任の気持ちを、６年生は十分くみ取ってくれたようです。

５年生、出番です！

○６年生を送る会　　３月５日

在校生が卒業生のために行う「６年生を送る会」は、恒例となっている行事です。この日のために５年生は、２月初めから準備をしてきました。中心となる実行委員は、１ヶ月間昼休み返上で活動してくれました。テーマは、**思い出～昔、今、そして未来～**

＜第一部＞　体育館

○６年生入場

・ステージから入場する６年生に合わせて、幼いときの個人写真がスクリーンに映し出されました。

○くす玉割り・思い出クイズ・詩の暗唱・キャンドルサービス

・５年生が『道程』（高村光太郎）を、お返しに６年生が『生きる』（谷川俊太郎）を暗唱。さすが高学年、両学年ともろうろうとすばらしい群読でした。最後は先生方が、６年生一人一人にキャンドルを渡していきました。グラスの中のろうそくの光が暗くなった体育館の中で揺れて、あったかい気持ちになりました。ナイス演出！

・６年生退場・・・５年生による『威風堂々』で退場。この器楽演奏もすばらしいものでした。

＜第二部＞　縦割り班教室

○ゲーム・プレゼント贈呈・お弁当給食

・各学年からペンダントやしおり、色紙など手作りプレゼントが贈られました。また、これまでの担任からのビデオメッセージが、テレビ放送で流されました。異動した先生方のもとに取材に出かけてくれたのは、５年担任。ご苦労様でした。

これまで４回の６年生を送る会を見てきたけど、５年生がこんなに大変だったとは思っていませんでした。けれど、みんなと作業していくと、６年生がどんな反応をしてくれるのか、楽しみになってきました。僕は実行委員だったため２つの作業をしたのでとても大変でした。（略）みんなで力を合わせて全てが完成したときは達成感がありました。（後略）５年大西克知

前日までの練習では、教室での活動がだめで、はらはらしていました。前日家で司会の言葉やプレゼントを渡す人など全部見直しました。（中略）私は夜遅くまで練習して少し成長したと思います。本番ではとても緊張しました。でも、とってもいい「送る会」になったと思います。それもこれだけ苦労したからだと思います。　　５年仕入愛梨

こうして神明小学校の伝統は、次に受け継がれていきます。